



## 働く女性の「ワーケーション」に関する意識調査

～84.4%が興味あり。キーワードは「滞在型」「観光地」「通信環境」～

日本全国でテレワークを実践する、自分らしい働き方を希望する女性向けのコミュニティサイトを運営している株式会社キャリア・맘（本社：東京都多摩市、代表取締役：堤香苗）は、キャリア・맘会員 213 名を対象に「『ワーケーション』に関する意識調査」を WEB アンケートにて実施いたしました。

### 【調査サマリ】

#### ■ワーケーションへの興味関心の高まり

働いている人を対象に「ワーケーションをしてみたいですか？」と聞いたところ、「とても興味がある」から「興味がある」までを合計して 84.4%が「はい」と回答。8 割以上が「興味がある」という結果になりました。

#### ■ワーケーションする際に選ぶポイントは、第 1 位が「通信接続環境（フリーWi-Fi など）」

次いで、第 2 位が宿泊先（ホテルにテレワークの環境が整っている）、第 3 位が「食事」。

#### ■ワーケーションは滞在型が人気

「4 泊以上 1 週間程度」を希望する声が 22.2%と最も多く、次いで、「週末を活用した 2 泊 3 日」が 19.8%という結果になりました。「2 週間以上」を希望する層も 33.3%と比較的多く、「週末のリフレッシュ」よりも「滞在型」の傾向が見られました。

#### ■行ってみたいワーケーション先、第 1 位は「沖縄県」（50.0%）

第 2 位「北海道」（34.9%）、第 3 位「長野県」（18.5%）という結果となり、ワーケーションだけではなく、観光地としても有名である都道府県が上位になりました。

### 【調査背景】

リゾート地や温泉地で、休暇気分を味わいながら仕事ができるスタイルを指す「ワーケーション」は、働き方改革促進を進めるにあたって作られた造語です（work [ワーク=働く] + vacation [バケーション=休暇]）。国土交通省観光局でも、新たな旅のスタイルとして特設ページを設けて紹介しています。2019 年発足の「ワーケーション自治体協議会」には、22 の道県をはじめ 150 以上の市町村が参加しており、日本テレワーク協会も運営に携わっています。また国土交通省では、テレワーク関係府省（内閣官房、内閣府、総務省、厚生労働省、経済産業省）と連携して、テレワークの普及促進に取り組んでいます。令和 3 年度「テレワーク人口実態調査」におけるテレワーク実施者の割合は、緊急事態宣言中に増加し、昨年度比倍増の「19.7%」となりました。

そこで株式会社キャリア・맘では、テレワーク急増中の現在において、ワーケーションへの意識も高まっているのではないかと仮説に基づき、在宅ワークに取り組むキャリア・맘会員 213 名に「ワーケーションに関する意識調査」を実施しました。

### 【調査概要】

調査の方法：WEB アンケート（2022 年 1 月 7 日～23 日 17 日間）

調査の対象：20 代～60 代以上の女性 213 名

調査主体：株式会社キャリア・맘（※本リリース内容を掲載いただく際は、出典「キャリア・맘調べ」と明記をお願いします）

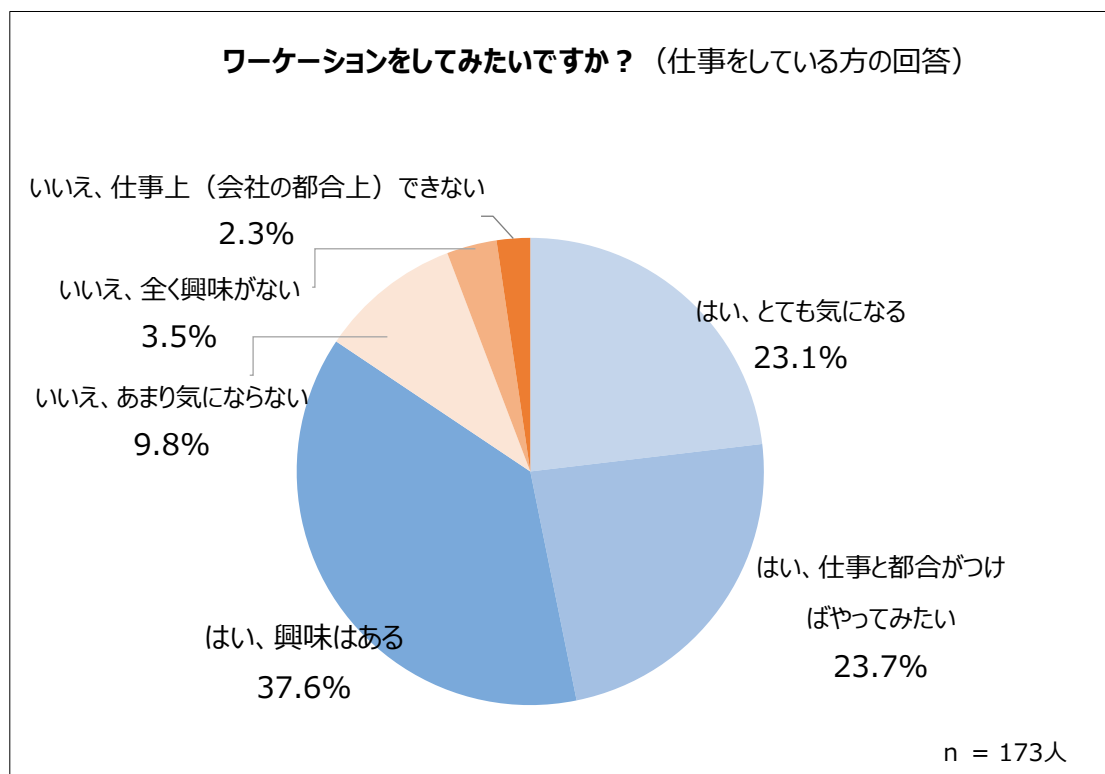
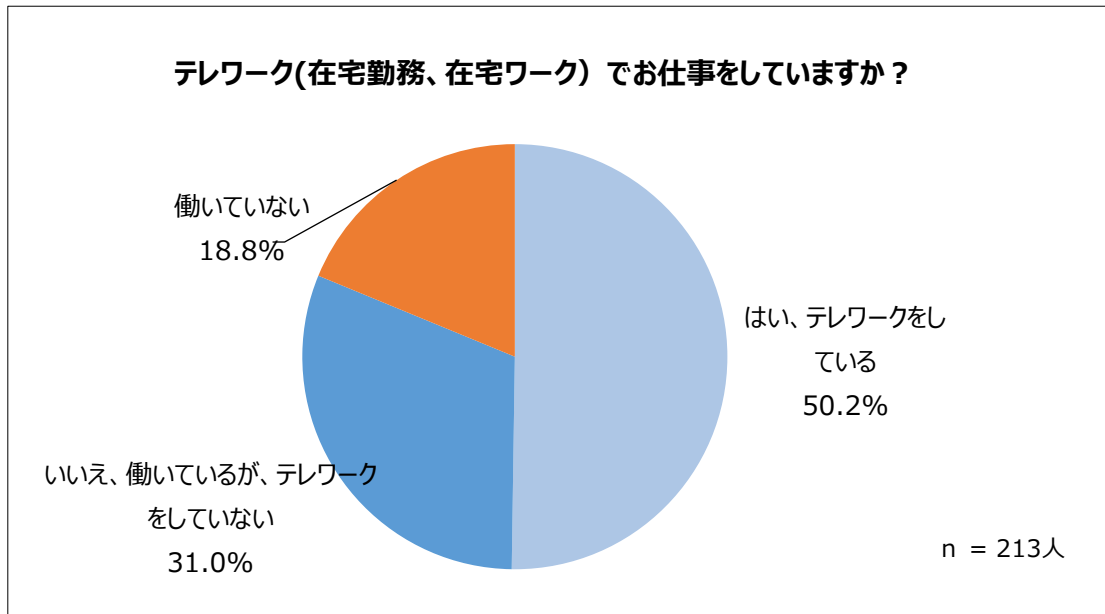
## 回答者の約 50%に「テレワーク」経験あり。

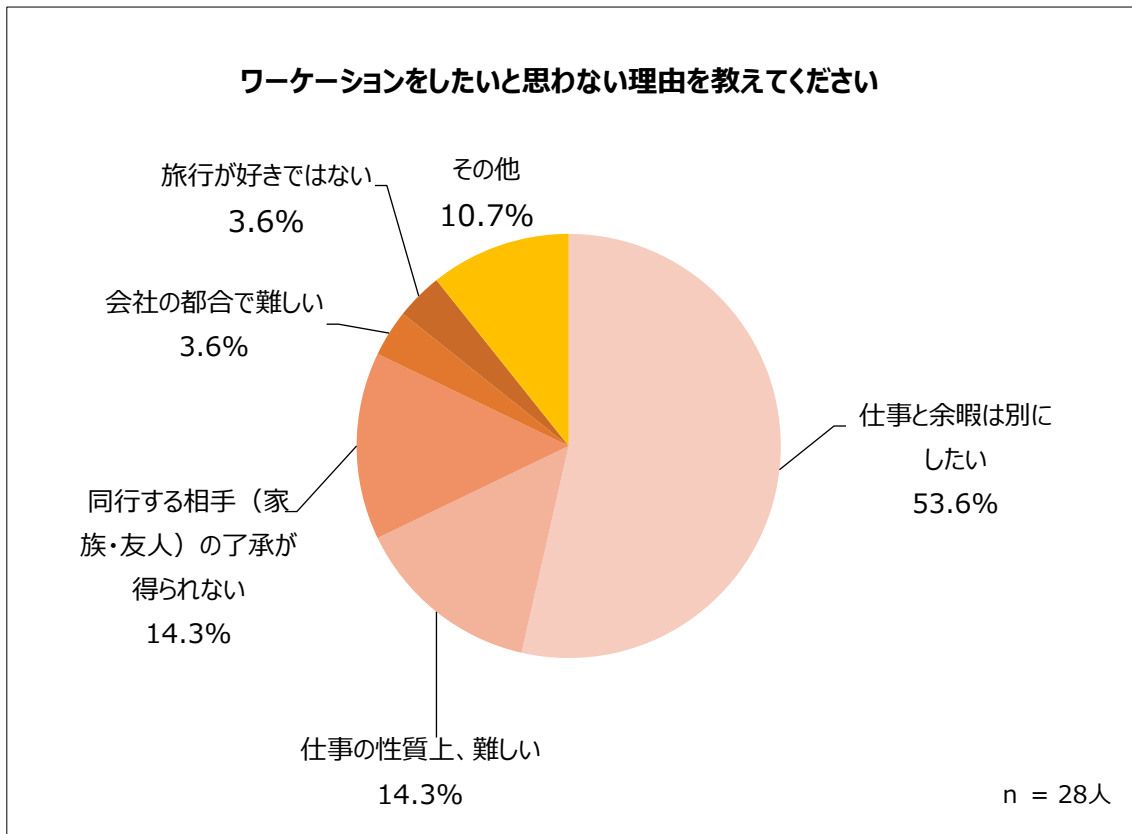
### 「仕事をしている」回答者の 80%以上が「ワーケーションに興味がある」

・「テレワーク（在宅勤務、在宅ワーク）でお仕事をしていますか？」との質問に対し、「テレワークをしている」との回答が「50.2%」、「働いているが、テレワークをしていない」という回答が「31.0%」でした。

・「働いている」と答えた 173 人に対して「ワーケーションをしてみたいですか？」との質問に、「とても気になる」が「23.1%」、「都合がつけばやってみたい」が「23.7%」、「興味がある」が「37.6%」となり、合わせて「84.4%」が興味を持っていることがわかります。

・反面、「いいえ、興味がない」「いいえ、全く興味がない」「仕事の都合上できない」と回答した 15.6%に対して、その理由を聞いたところ、「仕事と余暇は別にしたい」という回答が 53.6%と最も多く見受けられました。





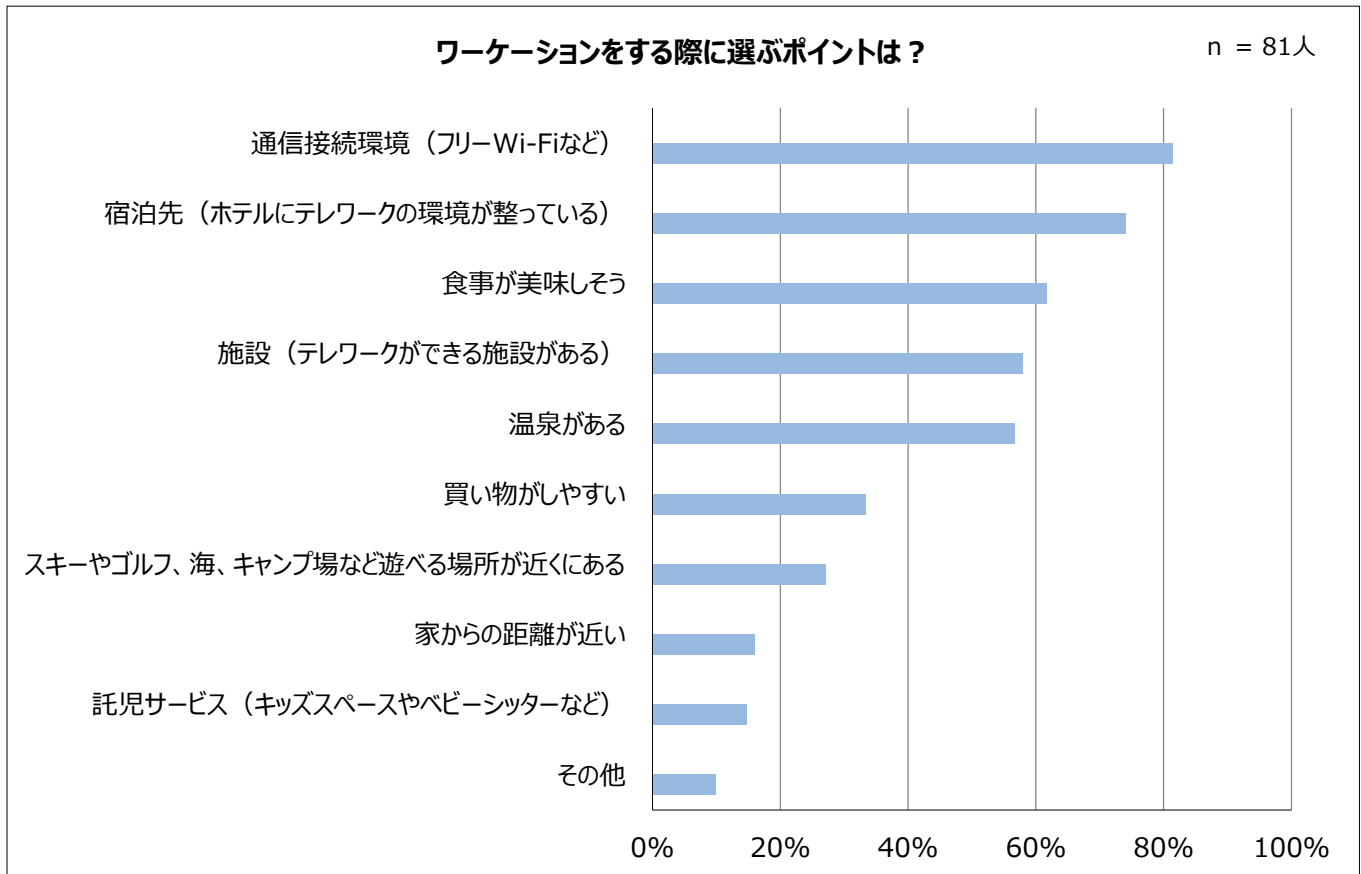
（その他の回答）

- ・リラックスし過ぎて仕事ができるか心配
- ・車椅子なので、旅行をするのが大変
- ・乗り物が苦手で、特に長時間の移動ができないから

**「ワーケーションをする際に選ぶポイント」は「通信接続環境（フリーWi-Fiなど）」が1位、**

**続いて2位「宿泊先（ホテルにテレワークの環境が整っている）」、3位「食事が美味しそう」**

・「ワーケーションで重視するポイント」は1～2位と4位に「ワーク」要因、3位と5位以下に「バケーション」要因がバランスよくランクインしており、ワークとバケーションの両方をしっかりこなし、楽しみたいという意識が現れています。



#### その他の回答

- ・（海など）自然が多くてリラックスできる
- ・適度に静かな環境
- ・部屋に PC 用の机と椅子がある
- ・地元の人と交流できる
- ・物価が安い
- ・仕事の報酬と宿泊代などが見合っている
- ・治安のよいところ

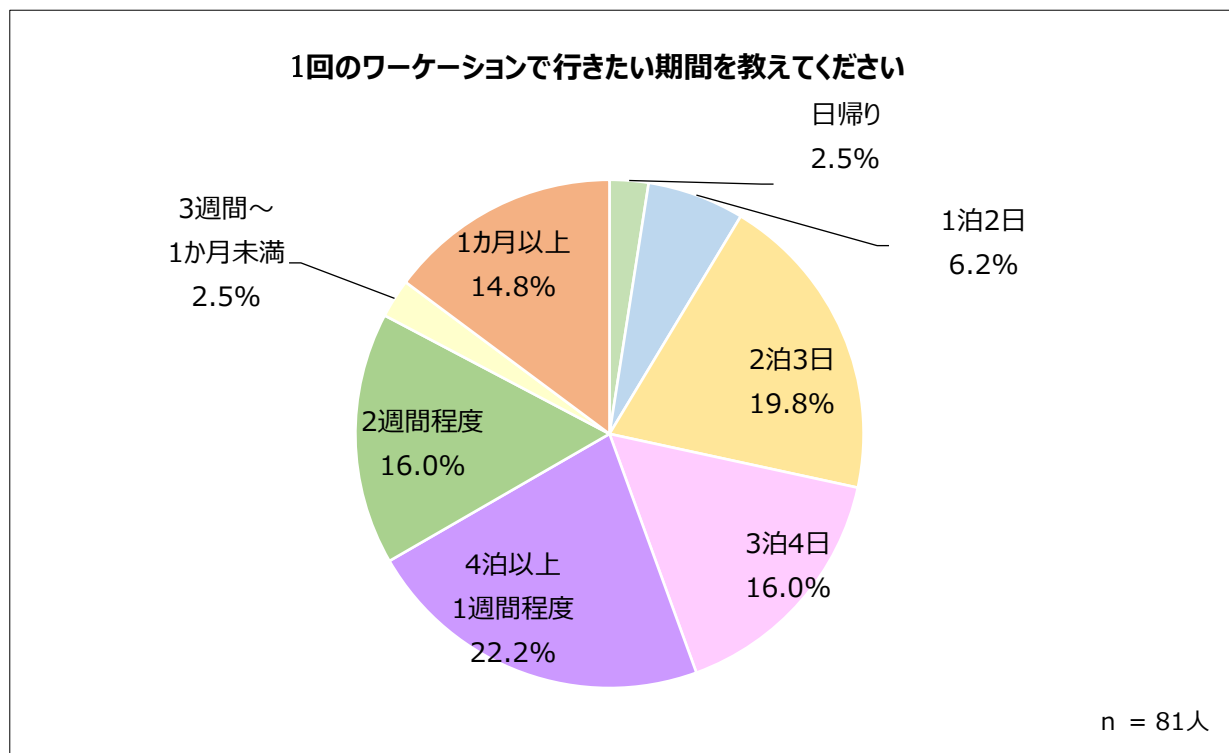
## 期間は、1位が「4泊以上1週間程度」、2位が「週末を利用した2泊3日」

### 「週末のリフレッシュ」よりも「滞在型」の傾向

・ワーケーション高関心度層（「とても気になる」「都合がつけばやってみたい」と答えた層）に対する質問「一回のワーケーションで行きたい期間は？」には、「4泊以上1週間程度」を希望する声が「22.2%」と最も多く現れました。

次いで、「週末を活用した2泊3日」が「19.8%」という結果になりました。

・「2週間以上」（「2週間程度」「3週間～1か月未満」「1か月以上」の合計）を希望する層も「33.3%」と比較的多く、「週末のリフレッシュ」よりも「滞在型」の傾向が見られました。



#### ■ 回答数の多い順

	合計	4泊以上 1週間	2泊3日	2週間	3泊4日	1か月以上	1泊2日	3週間～ 1か月	日帰り
ワーケーション 高関心度層	81	18	16	13	13	12	5	2	2
	100%	22.2%	19.8%	16.0%	16.0%	14.8%	6.2%	2.5%	2.5%

**「日本国内でワーケーションするなら？」の回答は「1位：沖縄県」「2位：北海道」「3位：長野県」**

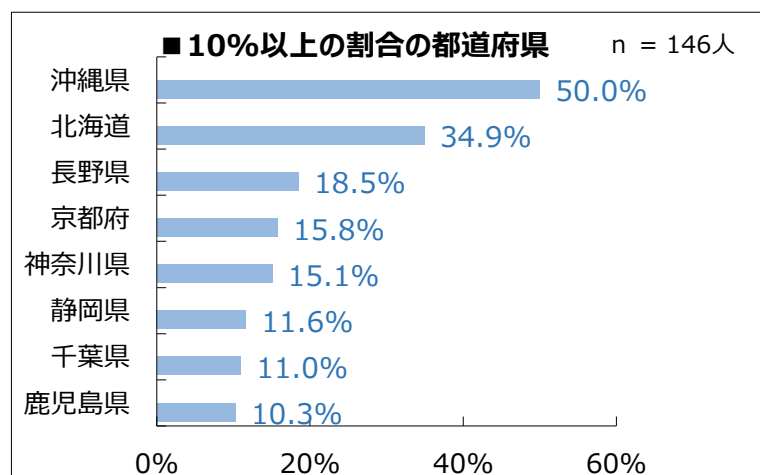
・「沖縄県」(50.0%)、「北海道」(34.9%)、「長野県」(18.5%)で、観光地としても有名な道県が上位です。

**■日本国内でワーケーションするならどの都道府県が良いですか？**

都道府県	合計	構成比	都道府県	合計	構成比
北海道	51	34.9%	滋賀県	2	1.4%
青森県	1	0.7%	京都府	23	15.8%
岩手県	3	2.1%	大阪府	4	2.7%
宮城県	5	3.4%	兵庫県	4	2.7%
秋田県	4	2.7%	奈良県	7	4.8%
山形県	0	0.0%	和歌山県	10	6.8%
福島県	2	1.4%	鳥取県	3	2.1%
茨城県	1	0.7%	島根県	5	3.4%
栃木県	6	4.1%	岡山県	3	2.1%
群馬県	10	6.8%	広島県	3	2.1%
埼玉県	4	2.7%	山口県	3	2.1%
千葉県	16	11.0%	徳島県	4	2.7%
東京都	10	6.8%	香川県	6	4.1%
神奈川県	22	15.1%	愛媛県	7	4.8%
新潟県	3	2.1%	高知県	8	5.5%
富山県	6	4.1%	福岡県	9	6.2%
石川県	2	1.4%	佐賀県	3	2.1%
福井県	1	0.7%	長崎県	10	6.8%
山梨県	6	4.1%	熊本県	1	0.7%
長野県	27	18.5%	大分県	8	5.5%
岐阜県	2	1.4%	宮崎県	8	5.5%
静岡県	17	11.6%	鹿児島県	15	10.3%
愛知県	2	1.4%	沖縄県	73	50.0%
三重県	7	4.8%	回答者数	146	

**■10%以上の割合の都道府県**

都道府県	合計	構成比
沖縄県	73	50.0%
北海道	51	34.9%
長野県	27	18.5%
京都府	23	15.8%
神奈川県	22	15.1%
静岡県	17	11.6%
千葉県	16	11.0%
鹿児島県	15	10.3%
回答者数	146	



**「なぜその都道府県でワーケーションをしたいのか」の理由は、**

**「きれいな海」「自然が豊か」「リゾート地・避暑地がある」など、バケーション要因が上位に**

・ワーケーション高関心度層に「ワーケーションをしたい都道府県」を選んだ理由を尋ねたところ、

〈沖縄県〉：「きれいな海がある」「（冬は）暖かい陽気がよい」「ゆったりと過ごしたい」

〈北海道〉：「自然が豊か」「食べ物が美味しい」「行ってみたい」「観光地がある」

〈長野県〉：「リゾート地・避暑地がある」「自然が豊か」「スキー場がある」

〈京都府〉：「落ち着いた雰囲気」「食べ物が美味しい」「観光地がある」

〈神奈川県〉：「海が近い」「近場だから」「温泉がある」「自然がある」

といった理由が上位に入りました。

場所選びの理由からは、「ワーケーション中にもじっくり観光やレジャーを楽しみたい」という意識がうかがえます。

■「ワーケーションをしたい都道府県」ベスト5の「なぜその道府県でワーケーションをしたいのか」

沖縄県	件数
きれいな海があるから	12
（冬は）暖かい陽気が良いから	7
ゆったりと過ごしたいから	6
リゾート地・観光地があるから	6
自然が豊かだから	4
行ってみたいから	4
気分転換したいから	2
食べ物が美味しいから	2
その他	3

長野県	件数
リゾート地・避暑地があるから	8
自然が豊かだから	6
スキー場があるから	2
その他	4

北海道	件数
自然が豊かだから	7
食べ物が美味しいから	6
行ってみたいから	2
観光地があるから	2
（夏は）涼しくて過ごしやすいから	2
雪があるから	2
家族がいる（いた）場所だから	2
その他	4

京都府	件数
落ち着いた雰囲気が良いから	5
食べ物が美味しいから	2
観光地があるから	3
その他	2

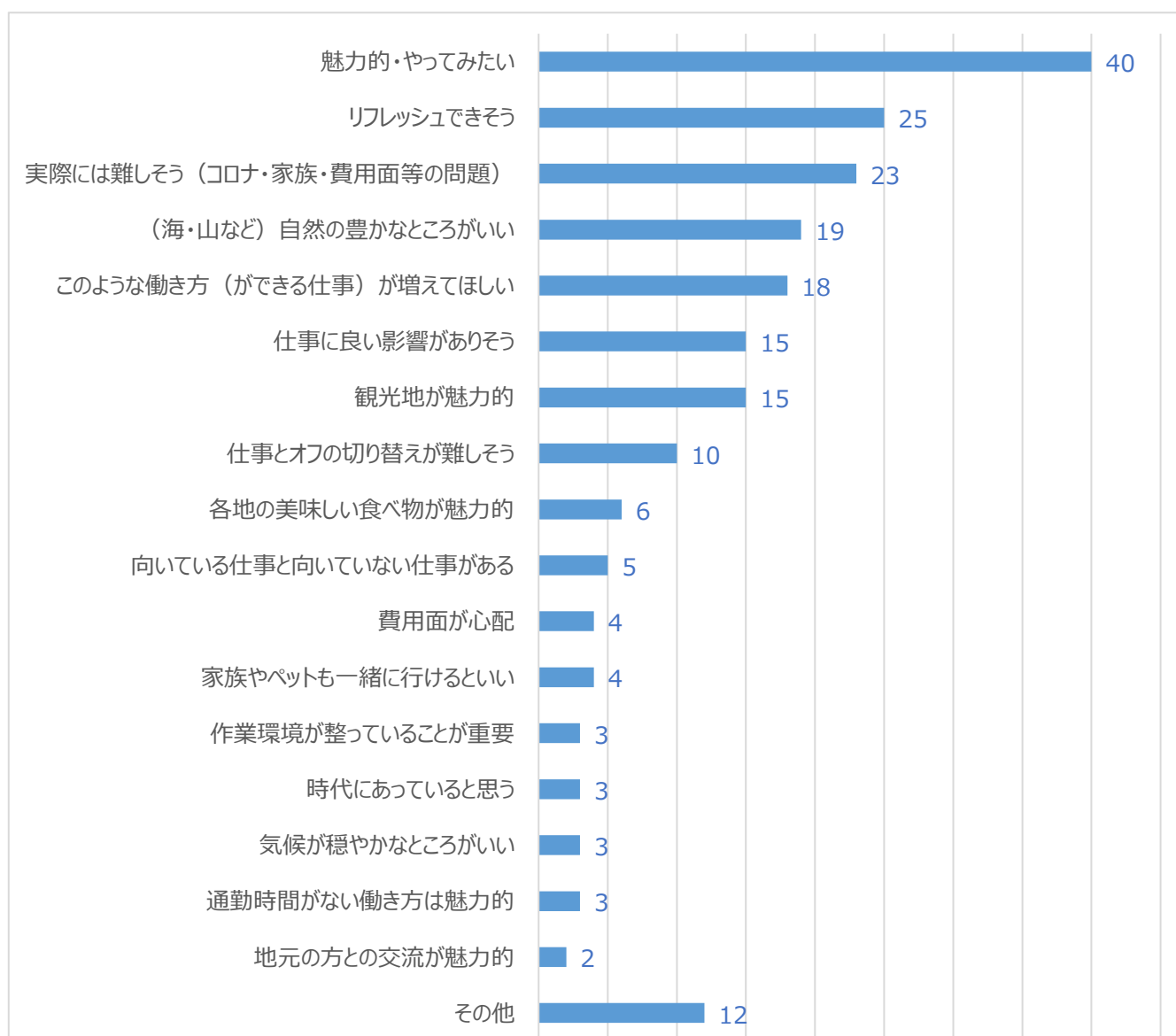
神奈川県	件数
海が近いから	4
近場だから	3
温泉があるから	2
自然があるから	2
その他	3

## 想像すると楽しそうで社会に浸透してほしいものの、仕事以外の現実的な課題も（家族、コロナ禍など）

最後の設問ではワーケーションについてのフリーコメントを集めました。（以下抜粋）

- ・温暖で風光明媚なところで、仕事の合間に海や山を楽しみたいです。
- ・パソコンとスマホと資格があれば、ワーケーションはいつでも可能だと思います。
- ・地方は物価が安くて、空気や水もきれい、感染もしにくそうだから、そこで仕事ができたら理想的だ。
- ・憧れですが、今のご時世ではなかなか実現が難しいです。
- ・どこでも働くことができる在宅ワークという仕事だからこそ、好きな場所で暮らせるというメリットがあると思います。  
ただし、子供がいると難しいのが現実。老後の楽しみとして、各地を点々としながら働くことができたらうれしいです。
- ・今回ワーケーションについて具体的に考えてみたけれど、いざ出掛けてみたものの、仕事とプライベートが区別つかなくなるのでは？と感じた。どちらにしても、チャンスがあれば、どういものなのか体験してみたい。

### ■フリーコメントをカテゴリーに分類し集計





### 【株式会社キャリア・맘 代表取締役 堤香苗の見解】

当社の会員の方々に調査した今回の結果を見て、あらためて、自営型テレワークという働き方の自由度の高さがわかりました。働く時間の捉え方が、仕事と休暇と生活で明確に切り分けられてはならず、上手にブレンドされているとわかりました。

つまり休暇と仕事を一緒におこなうことも選択できる働き方であり、ライフステージの変化にも対応できると捉えられます。

また、滞在期間を少し長く希望する方が多いことも特徴の一つです。ちょっとしたリフレッシュよりも、「働くからには少し腰を据えて過ごしたい」と仕事に取り組む姿勢が感じ取れました。自営型テレワークとは、インターネットに接続できる通信環境で、整備されていれば、どこでも仕事ができます。コロナ禍で一気にテレワークという働き方が浸透しましたが、より一層働き方の柔軟度が高くなり、自分らしい働き方を楽める方々が増えていくことを期待しています。



### 【株式会社キャリア・맘について】

「また働きたい」という女性の希望を多様な働き方でかなえる「キャリア・맘」。在宅ワークや起業など自分らしい働き方を希望する女性向けのコミュニティサイトを運営 (<http://www.c-mam.co.jp/>)。会員数は現在 11 万人。育児や介護といったライフステージの変化に関わらず、キャリアを継続 できるような時間や場所に柔軟な働き方を推進しています。大量のタスク業務（入力やコール等）の代行を行う BPO 事業や、ライティングやデザインといったクリエイティブ業務などで、女性たちの活躍する機会を創出。現在では自治体や官公庁より在宅ワーク就業支援や教育訓練に関する事業や創業支援事業などを受託運営。多くの女性たちの再就業を支援しています。

【属性】 ※性別は全員女性

